

Employee's Profile

2010 ICF (Irago Camp Festival)のご案内



初めまして。今年の4月からジャパントラストに入社した木本英夫です。4月入社ですが、新卒ではなく33歳の転職組です。前職は某トヨタ系ディーラーの営業として10年勤めました。転職のタイミングとしてはギリギリの年齢と感じる方が多いのではないのでしょうか？私も転職を決断するのは勇気がいりました。自分でも思い切ったことをしたものだと思えるほどです。それでも新しいことに挑戦したい、違う世界でのびのびとやってみたいと思い、ジャパントラストへ入社しました。前職の10年間に人と人との繋がりの大切さ、営業の楽しさや難しさなどたくさんを学びました。異業界からの転職とはいえ同じ営業職です。体力的にはピークを過ぎたかもしれませんが、新しいことをどんどん吸収し、今まで培ってきたものを進化させて全力でぶつかっていこうと思います。たくさんの方々とお会いできるのを楽しみにしています。今後ともよろしく願いいたします。



名古屋本社 木本英夫

去年、大好評でしたビーチキャンプイベントを、今年も7月17-18日に愛知県伊良湖にて行います。バーベキュー、サーフィン、キャンプファイヤーなど、イベント盛りだくさんで、皆様のご参加をお待ちしています！！詳しくは、メール本文のURLをクリック、もしくは弊社へお問い合わせください。



情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



中国通信



中国の高速鉄道についてご紹介します。何とんでも高速鉄道と高速道路の整備の早さに驚きを隠せません。新幹線と同じくグリーン席と一般席にわかれており、中国では1等車、2等車と呼んでいます。距離により1割から3割の料金差があります。例えば広州―武漢まで1等車780元（約1万1500円）、2等車490元（約6400円）です。私は今後、3国間貿易をはじめ、中国発アメリカ、日本向けの船便と航空便の件で、長期的に中国で仕事をします。皆様が中国へ出張や旅行の際にはぜひお声を掛けてください。一緒に高速鉄道を体験しながら無料でガイド致します。上海、北京、天津、重慶、アモイ、深セン、大連、青島、香港などどこへでもお伺い致します。

ここで、いくつか中国鉄道について最新情報をお伝えします。

- ①北京から天津まで約2時間かかっていたのが今は30分で完走。最高速度時速350キロ。
- ②北京と上海を結ぶ高速鉄道所要時間は現在の10時間から4時間に短縮される。
- ③広州―武漢を従来の10時間半から3時間で結ぶ。同じく最高時速は350キロで走行し、世界最速の営業運転となる予定。
- ④中国鉄道局は2013年までに武漢を中心とした世界最大の鉄道網を建設すると宣言。構想されている鉄道網計画は武漢を中心に、北は北京、東は上海、西は成都、南は広州を結ぶもので、武漢から目的地まで4時間以内で到着可能となる予定。2011年内には北京―武漢―広州区間が開通する。さらには昆明―アモイ―台湾間の高速鉄道建設の日程がすでに報告されていることを明らかにした。アモイ―高雄区間の海峡部分は海底トンネルとなる予定で、最終的には武漢から台湾の台北まで直通で行けるようになる。
- ⑤将来的に大半の省都と北京を高速鉄道8時間以内で結ぶことを目指す。高速鉄道の営業距離は現在の6552キロから、2012年には1万3千キロ、20年までに最終的に5万キロに達する見込みという。中国は、さらにドイツや日本の技術を基に、時速380キロで走る次世代高速車両も開発中で、米国や新興諸国への輸出計画を進めている。自国にとどまらず海外にも、独自開発の次世代高速車両を売り込みたい考え。中国の鉄道開発が急ピッチで進んでいることをうかがわせており、輸出先で日本勢との競争が激化しそうだ。



今後の中国への出張は、コスト削減出来ながら便利な鉄道をお勧めします。飛行機と変わらぬ時間で効率的に全国を回ることが出来ます。飛行機よりかなり時間短縮可能な場合もあり、実際に体験したところ、北京から天津までの高速走行は本当に最高でした。日独仏などから導入された最先端技術が結集されただけに、車体の静音設計と線路工事・維持補修のレベルが相当高かったのでしょうか。時速347キロにもかかわらず、振動をほとんど感じませんでした。中国高速鉄道の目覚ましい発達、乗客に快適な走りを実感させながら世間にその存在感をアピールしているのでしょう。ただ、清潔感はまだまだ日本に及ばないのが残念ですが、それでも鉄道は大いに利用できること間違いなしです。10分間毎に発車なので、新幹線と同じく予約不要、好きな時間に行けばよいので、ビジネスに集中できます。高速道路もETC使用可能でこちらも便利になるでしょう。これから中国出張がますます楽になるでしょう。

名古屋本社 成 正哲